

令和2年度東彼杵郡中学校体育大会選手激励式によせて（令和2年6月30日（火））

試合終了の合図が聞こえたとき、皆さんはどんな姿でいたいですか？

どんな気持ちでその合図を受け止めたいですか？

目標にしていたこと。

そのために心と体と時間をかけてきたこと。

家族も一緒になって支えてくれてきたこと。

今年、多くの学生が練習の成果を発揮する場をなくしました。

多くの大人が、何とかしなければならないと立ち上がりました。

ひと試合でもさせてあげたい。そんな思いでした。

安全に開催するには何が必要なんだ。知恵を出し合いました。

中総体の開催を大人たちは諦めませんでした。

舞台は用意されました。

県大会を含め上位大会なし。応援なし。無観客。登録選手だけ。

これまでの中総体とは違います。

しかし、競技は同じです。

だから、皆さんも、最後まで諦めずに戦ってきてください。

終了の合図があるまで、全力で挑んでください。

皆さんが注ぎ込んできたものの全てを出し切ってください。

休校が明け、部活動ができる笑顔と練習に全力で臨む真剣な顔を見てきました。

大会の後、皆さんが笑顔で学校に戻ってくることを願っています。

選手の皆さん、頑張ってきてください。応援しています。

令和2年6月30日 校長 東本 伸二